2026.10.30　VOL. 151

第151回　地区内中小企業
景　気　動　向　調　査　結　果

（2026年　7月 ～　9月実績）
（2026年 10月 ～ 12月予想）

＊＊＊＊＊＊＊＊　目　　次　＊＊＊＊＊＊＊＊

地区内データベース …… 1

全国・全道の概況 …… 4

調査の概要 …… 5

全業種総合 …… 6

製造業 …… 9

建設業 …… 11

卸売業 …… 13

小売業 …… 15

サービス業 …… 17

特別調査 …… 19

地 区 内 デ ー タ ベ ー ス

１． 人 口・世 帯 数 動 向（令和８年９月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	３月末比	世 帯 数	前年同月比	３月末比
平 取 町	4,378	−56	47	2,449	12	67
日 高 町	10,615	−214	10	6,244	−18	77
新 冠 町	4,900	−68	−8	2,835	20	13
新 ひ だ か 町	19,497	−389	−33	11,212	−23	75
浦 河 町	10,801	−259	−72	6,582	−53	10
様 似 町	3,614	−95	−25	1,991	−22	1
え り も 町	3,864	−91	−9	1,940	−16	8
広 尾 町	5,613	−141	−31	3,098	−9	13
大 樹 町	5,144	−80	22	2,845	11	51
日高・十勝地区合計	68,426	−1,393	−99	39,196	−98	315
札 幌 市	1,953,121	−2,491	421	1,130,151	7,883	5,149
江 別 市	117,622	−249	259	60,411	311	459
石 狩 市	56,490	−433	−111	28,907	102	118
北 広 島 市	55,839	−342	−77	28,706	161	126
恵 庭 市	70,052	−193	107	36,847	371	340
千 歳 市	97,380	341	788	53,674	916	845
石 狩 地 区 合 計	2,350,504	−3,367	1,387	1,338,696	9,744	7,037
苫 小 牧 市	163,104	−1,367	−238	91,943	267	389
厚 真 町	4,242	14	39	2,195	71	64
む か わ 町	7,145	−97	132	4,171	−11	163
胆 振 地 区 合 計	174,491	−1,450	−67	98,309	327	616
営 業 区 域 合 計	2,593,421	−6,210	1,221	1,476,201	9,973	7,968

（資料出所：各市町）

２．企 業 倒 産 状 況（令和 8 年 7 月～令和 8 年 9 月）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	前年同期比件数	前年同期比金額
苫 小 牧 管 内	3	463	2	413
（内・新冠町～えりも町）	0	0	−1	−10
北 海 道	76	15,290	5	8,278
全 国	2,689	489,924	50	96,046

（資料出所：東京商工リサーチ）

３．労働需給状況

令和 8 年 7 月

	浦　河（人・倍）	全　道（人・倍）	前年同月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 浦　河	前年同月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 全　道	前月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 浦　河	前月比(%・ﾎﾟｲﾝﾄ) 全　道
月間有効求人数	765	74,591	2.41	-5.77	2.41	0.61
月間有効求職者数	580	86,954	13.95	2.30	-1.36	-3.71
月間有効求人倍率	1.32	0.86	-0.15	-0.07	0.05	0.04

令和 8 年 8 月

月間有効求人数	760	73,302	4.97	-5.46	-0.65	-1.73
月間有効求職者数	565	85,424	8.65	1.48	-2.59	-1.76
月間有効求人倍率	1.35	0.86	-0.04	-0.06	0.03	0.00

令和 8 年 9 月

月間有効求人数	782	73,375	0.00	-4.96	2.89	0.10
月間有効求職者数	516	83,885	-3.19	-0.13	-8.67	-1.80
月間有効求人倍率	1.52	0.87	0.05	-0.05	0.17	0.01

（資料出所：厚生労働省　北海道労働局）

４．町発注工事

令和 8 年 7 月　　**単位：件・百万円**

	7 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町～広　尾　町	58	689	191	4,573	29	857	169	4,555

令和 8 年 8 月

	8 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町～広　尾　町	29	762	217	5,335	25	400	194	4,955

令和 8 年 9 月

	9 月		累　計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町～広　尾　町	31	425	248	5,760	29	362	223	5,317

（資料出所：各町）

５．建　築　確　認　申　請

単位：件数

		件　数	前年同期比	前四半期比
当 金 庫 管 内	8/7 ～ 8/9月迄の累計	3	−8	−8
(新ひだか町～広尾町)	8/4 ～ 8/9月迄の累計	14	−24	

(資料出所：各町)

６．浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金･貸出金残高（令和 8 年 9 月末現在）

単位：百万円・％

預　　金			貸　出　金		
残　　高	前年同月比	前　月　比	貸　出　金	前年同月比	前　月　比
196,971	1.11	−2.71	58,808	0.64	0.32

(資料出所：浦河・静内金融協会)

７．気　象　情　報

令和 8 年 7 月中

	本　　年			平年偏差・平年比		
	気 温 (℃)	降水量(mm)	日照時間	気 温 (℃)	降水量(%)	日照時間 (%)
浦　　河	18.7	240.5	104.3	1.0	170.0	90.2
広　　尾	17.6	182.0	98.9	1.0	109.5	91.3

令和 8 年 8 月中

浦　　河	24.6	64.5	221.4	4.7	39.9	162.8
広　　尾	20.0	168.5	178.2	1.4	77.4	156.5

令和 8 年 9 月中

浦　　河	24.6	64.5	221.4	4.7	39.9	162.8
広　　尾	20.0	168.5	178.2	1.4	77.4	156.5

(資料出所：国土交通省　気象庁)

全　国　・　全　道　の　概　況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2026年7～9月期（今期）の業況判断D.I.は△4.1、前期比2.9ポイント改善と、3四半期ぶりの改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D.I.がプラス8.7、同収益判断D.I.は△3.1と、ともに改善した。販売価格判断D.I.はプラス33.7と、若干低下した。人手過不足判断D.I.は△25.2と、3四半期ぶりに人手不足感が強まった。設備投資実施企業割合は21.7％と、2四半期ぶりに上昇した。業種別の業況判断D.I.は、全6業種中、小売業と不動産業で小幅低下したものの、それ以外の4業種では改善した。地域別には全11地域中、南九州を除く10地域で改善した。2026年10～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は△2.1と、今期実績比2.0ポイントの改善を見込んでいる。業種別では全6業種中、不動産業を除く5業種で、また、地域別では全11地域中、北海道と北陸を除く9地域で、それぞれ改善の見通しとなっている。

日本銀行札幌支店が10月1日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに持ち直している。すなわち、公共投資は、緩やかに増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。観光は、堅調に推移している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

需要項目別動向

○公共投資･･･緩やかに増加している。
○輸出･･･横ばい圏内の動きとなっている。
○設備投資･･･緩やかに増加している。9月短観(北海道地区)における2026年度の設備投資は、高水準ながら前年を下回る計画となっている。
○個人消費･･･物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、堅調に推移している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。サービス消費は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに増加している。
○観光･･･堅調に推移している。
○住宅投資･･･弱めの動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、横ばい圏内の動きとなっている。
○生産（鉱工業生産）･･･横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。
○雇用・所得情勢･･･緩やかに改善している。
○物価･･･消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%台前半ばのプラスとなっている。
○企業倒産･･･横ばい圏内の動きとなっている。